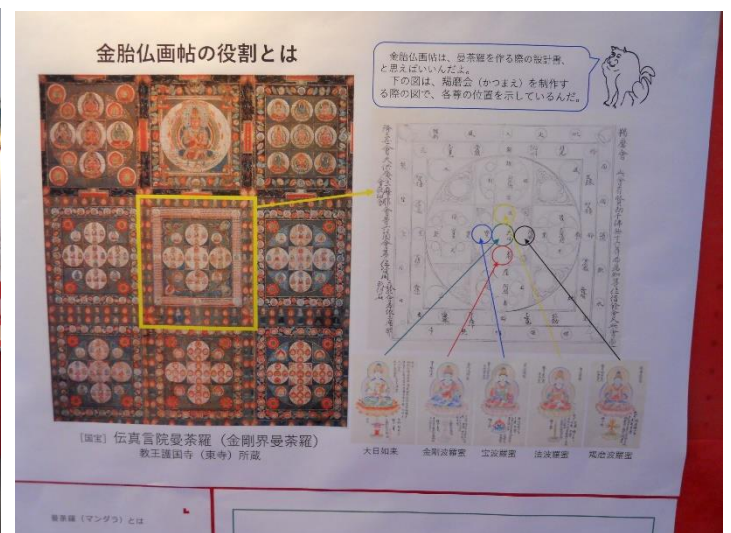


令和4年4月22日（金）3・4校時 2年進学コース日本史Aの授業

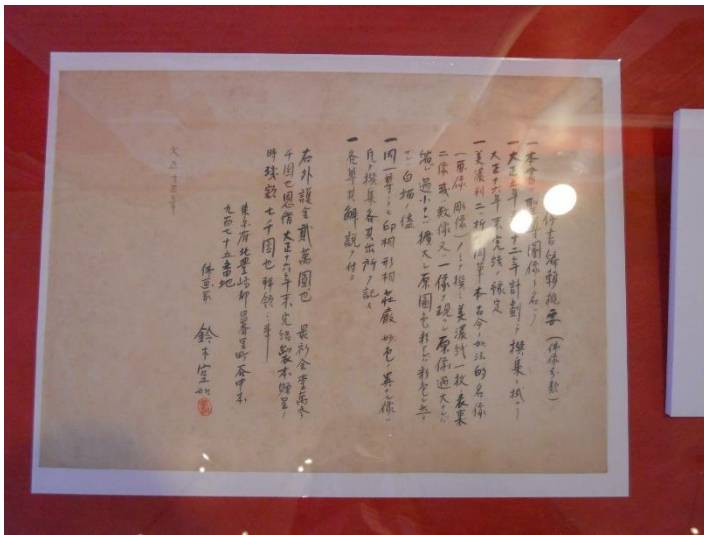
・郷土の歴史探訪として、大仙市にある太田文化プラザで開催されている「鈴木空如と密教尊像」へ伺ってきました。はじめは、鈴木空如の人物史を学びます。



次は、曼荼羅の模写。曼荼羅に描かれている仏様、ひとつひとつの模写になります。よく見ると同じではない・・・  
曼荼羅にも、金剛界と胎蔵界があって今回ののは・・・



まだ、鮮やかな色が残っているのはとても驚きました。高価な画材を使用していたと思われます。



空如の趣意書ともいえる直筆文書。

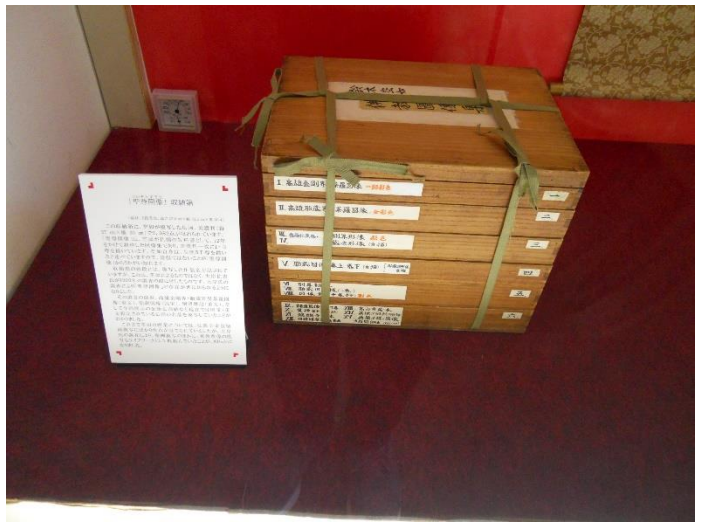
空如の模写絵でしか出会えない「四種護摩本尊並眷属図像」



この巻物は、12mくらいだと、こんなに厚い巻物になる様です。こんな厚い巻物の実物を見ると驚きますね。



一二神将図像について。右の写真の小さな文字は、配色指定のようです。模写ですので、見本に忠実に。他にも仏画には決められたルールがあるようで、それを伝えたいという空如の思いも知ることができました。



最後は、空如作「毘沙門天像」と聖尊図像の収納箱。模写ではない、空如の作品もみることができました。



頂いたパンフレットです。仏具などが描かれ鮮やかです。  
曼荼羅と併せて、クリアファイルなどにしたいくらい。



十二神将 摩虎羅大将の真似をして記念撮影。自分の干支でもいいのですが、激しいポーズのためこちらに。  
最後になりますが、太田公民館の高橋様、お忙しい中、丁寧でわかりやすい説明ありがとうございました。